

# Creative Café Vol.7

プロジェクト代表 野原 佳代子 准教授  
共催 学生支援GP/  
G-COE「エネルギー学理の多学的学術融合」

先着20名

申し込み

## およその数でつかまえて

およその数（概数）は、普通の生活でよく使われます。たとえば、「あの建物は20メートルくらいある」とか、「ここから駅までは2キロくらいだ」とか。このような概数の使い方は、地域や世代によってどのように違っているのでしょうか？ また文化や人間の認知にどのように影響をもたらすのでしょうか、「概数という神秘」について数学的なまなざしからお話したいと思います。

※使用言語：日本語

Speaker

## 村上 斉

(むらかみ ひとし)

1958年生。東京工業大学・大学院理工学研究科・数学専攻・准教授。京都大学理学部卒。大阪市立大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士）。大阪府立大学理学部助手、助教授、早稲田大学理工学部助教授を経て現職。英・ケンブリッジ大学、リバプール大学、スウェーデン・ミッタウ-レフラー研究所などで研究を行なう。小学校や高校での出前授業の経験あり。専門は低次元トポロジー。



2010年  
1月25日(月)  
18:00~19:30

参加費無料 (お茶とお菓子あります!)

留学生センター1Fラウンジ

creative-flow@ryu.titech.ac.jp